



おはなしボランティアは楽しい！

現在 4 団体が、それぞれ楽しく子どもたちにおはなし会を届けています。おはなし会の中で、子どもたちが見せてくれるひとつひとつの表情に何とも言えない空間が生まれます。先日おはなしボランティア研修会「紙芝居の基礎」で、「共感の喜び」である紙芝居について学びました。その中で講師の伊藤俊子さんが、絵本は「最後にしずくが一人一人の心にぽとんと落ちる」という絵本・紙芝居作家まついのりこさんの言葉を紹介されていました。ステキな言葉ですね。子どもたちに思いを寄せながら活躍されている 4 団体さんからそれぞれの活動を紹介していただきました。これからますますおはなしボランティアの輪がひろがりますように。みなさんのご参加お待ちしております。

スマイル

「スマイル」は名取市図書館での活動の為に結成したグループです。メンバーは別々の場所でも活動していますが、子どもたちにおはなし会を通して本の魅力、読書の楽しさを伝えるという同じ目的を持って活動しています。



おまちしています

- ・各団体 会員募集中
- ・おはなしボランティア 団体募集中
- *連絡先 図書館

図書館おはなし会

- 土曜日おはなし会 毎月 2 回 14:00~14:30
- ミニミニおはなしタイム 毎週木曜日 10:30~10:50
- 会場：おはなしのへや

みんなで楽しくしよう会

私たち「みんなで楽しくしよう会」は、世界を楽しくする活動なら何でも行っています。小学校の読み語りで出会い、震災後、慰問活動等で集まっていたのですが、新図書館の読み語りサークルに手を挙げるのを機に団体名も決めました。現在まで市の協働事業、通いの場や子ども会のワークショップ等の活動も続けています。もし、あなたが「こんな事、したら楽しいだろうなあ」と思っているのなら、一緒に実現してみませんか？



朗読 読み聞かせサークル「ねむの木」

私たちは「ねむの木」といいます。子どもたちに向けて読み聞かせを行っています。自分の得意な手遊びや歌、朗読や演技等を工夫してお話会を実施します。会員の都合に合わせてグループに分かれて行っています。生き生きした目を向けてくれる子どもたちは楽しそうに聞いてくれていますよ。そして私たちも元気をたくさんもらっています。楽しいです。わくわくします。名取市図書館の他にも高館あおぞら保育園、児童センターでも行っています。

皆さん、私たちと一緒に活動してみませんか？
会員募集中です。お待ちしております。



おはなしキラキラの会

「わあ、楽しかったあ！」
と言って頂けるようなおはなし会をお届けできるように、私たちは、季節に合った絵本や大型絵本、手遊び、紙芝居などを行っています。そして、昨年からは人形劇にも挑戦しています。でも、一番の特色は、何と言ってもブラックパネルシアターです。部屋を暗くして演じますが、色彩の美しさと動きが楽しいです。「きれいだね」という声聞こえてくると、嬉しくなります。



ぜひ、おはなし会にいらしてくださいね。

第 5 回 (1/17) 図書館の本で楽しもう！

～ちりめんで作る香袋～

今回の図書館の本

小正月の一日、心華やくぐい袋を製作しました。手の中にコロんと納まる可愛い香袋。7 種の色と柄の古布の柔らかな感触に針を持つ手もスムーズに進みます。やがて小さな紙ふうせんのように形が出来、そのふちを朱赤のちりめん縫いで縫いつければあともう一息。打ちひもを通し最後の難関は 5 ミリ程のひもかざり。息をつめて完成させてふうせんの中に綿をつめ、小さくりボンに結びます。「どんな香りにしようかな」と語り合いながら完成品をカメラに収めて散会しました。



「色合わせを楽しむ 和布の小物とバッグ」 さかくらりのりこ：著 成美堂出版：出版

第 6 回 (3/14) 図書館の本で楽しもう！

～牛乳パックで作る小物入れ～

今回の図書館の本

今回は「手近にある牛乳パックで何かを作る」を目当てに牛乳パックらしくない小物入れ作りを行いました。見本もなく申し込んだ皆さんから「わあ可愛い」の第一声で嬉しい予感。説明もそこそこにパックに紙を入れ、糊づけする手の速いこと、ドンドン作業が進みます。箱状に組んだパックの内側と外側に明るい色違いの布を貼り、取っ手を付ければもう完成！残りの時間で使い易い糊の作り方や机の上に準備をした紙製ゴミ箱の折り方レクチャーまで飛び出して大賑わいの 2 時間でした。



「牛乳パックで作る暮らしを整えるインテリア雑貨」 日本ヴォーグ社：出版

♪わたしからあなたへ♪

本のバトン no.11

「タラヨウの葉のめぐりあわせ」

渡邊 和夏

「猫のお告げは樹の下で」という物語は青山美智子さんの作品の一つです。他の作品で本屋大賞にランクインした作家さんなので、知っている方も多いと思います。私がこの作品を手にとったきっかけは、タイトル名にとっても興味をひかれたことです。まず目に飛びこんでくるものは「猫のお告げ」という言葉です。猫からお告げをもらうの？と第一印象としては少し不思議なかんじになります。またお告げそのものに対しても皆さんによって捉え方は様々であると思います。捉え方はどうであれ、この作品を通してお告げの内容やタイミングには何かしらの意味があり、そこから今の自分をよりよくする気づきを得ることが大切なのだと感じました。悩める登場人物たちの物語を通して、皆さんがよりよく生きるヒントが隠されているかもしれません。よろしければ、読んでみてください。



「猫のお告げは樹の下で」
青山美智子：著
宝島社：出版

☆☆12月～2月のナイトライブラリー☆☆

★12/23「オカリナで奏でるクリスマスコンサート」

今回は葛西淳子さん・渋谷風見子さんの親子ユニット「オカリナ&ピアノ桜音^{さくらね}」さんによるコンサートでした。クリスマス雰囲気をとスタッフもサンタ帽子で皆さんをお出迎え(笑)。神聖な讃美歌「神の御子は」から始まりクリスマス曲中心に全10曲の演奏を楽しみました。「あわてんぼうのサンタクロース」では、全員で歌い、鈴やタンバリン、マラカス等でリズムをとり会場は大盛り上がり。合間にオカリナの説明もあり、実際に何種類かのオカリナで「きよしこの夜」を演奏され、その音色の違いに耳を傾けました。それにしても母娘の演奏は息もぴったりで、優しく、温かく、心地よいものでした。ブラボー！



★1/27「独楽を楽しむ」

「独楽が回れば縁も回る！運も回る！」がキャッチコピーの独楽名人の安藤正樹さん(全日本独楽回しの会会長)が講師です。独楽の起源は4千年前で、世界中にあります。日本では、各地に独楽があり、種類は世界一。しかし、遊び方を伝えるガキ大将がいなくなり、現在ではあまり遊ばれていないそうです。安藤さんの滝登り等の妙技に感動した後、参加者全員で独楽回しに挑戦です。丁寧にひもを巻き、リズムよく床に投げ、数回で回せる人もいました。皆さんが童心に戻ったとても楽しいひとときとなりました。



★2/24「名取の昔ばなし～語りの世界～」

昔ばなしには喜びや悲しみが詰まっている。そして地域に根ざした知恵や工夫がある。地元の言葉で語ることで郷土愛が芽生えることを願っていると、挨拶の中でおしゃっていた岩淵俊子さんをはじめ、5名の皆さんの語りを聞きました。

思わず吹き出してしまう「カニのふんどし」から始まり、「正次郎ときつね」「火男」「盗っ人女房」「スカガニコタロウ」と語り手の皆様の個性あふれる語り口で、あっという間に時間が過ぎました。生の語りはいいですね。自分の言葉でしゃべる。学校などで語るとき、聞いている子どもたちの目がきれい。まなざしがいい。といった名取昔ばなし語りの会の皆様の話も含め、語りを通じた演者と聞き手のすばらしいやりとりがありました。



☆これからのナイトライブラリー☆

★3/24「親子はいきづらい “トランスジェンダー” をめぐる家族の物語」

ゲスト 勝又 栄政さん

★4/28「笑って健康！」

ゲスト 坂本 宏一さん (那智が丘在住 日本笑い学会東北支部)

★5/26 調整中

日 時 毎月最終金曜日 19:30～20:30
会 場 カフェコーナー
定 員 40名
参加費 会員無料 非会員 300円
申込み 図書館へ

ごあんない

図書館こどもまつり

日 時 4月22日(土)10:00～14:00
詳細は「広報なとり」、ポスター、チラシ等をご覧ください。

次回第7回図書館の本で楽しもう!

日 時 5月9日(火) 13:30～15:30
*詳細調整中

第6回定期総会

日 時 5月28日(日) 10:00～
会 場 増田公民館 講義室
皆様のご参加お待ちしております。



でんごんばん

♪早いもので、「なとと」ができて5年が過ぎようとしています。年を重ねる毎に活動も広がり、着実に充実した友の会になりつつあると思います。「なとと通信」は、2年目からスタートし年4回発行してきました。A4サイズの紙面では、狭くお伝えできないことも多く、読みにくいのご意見もいただいています。そこで次年度からA3サイズに変更しリニューアルして、読みやすく充実度アップしてお届けしたいと思っています。また、「なとと通信」を作る広報仲間も募集しています。今度はどんな内容にしようかとワクワクしながら楽しく編集会議をしています。お気軽にご参加下さい。



「なとと」
Facebook
QRコード